

令和5（2023）年2月8日

令和4年度 大阪府立福井高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

1 校長あいさつ

（協議会前）・大雪による休校 ・SNS についての情報共有

- ・福井高校次の5年…多様性を大切に

府立公立中学校卒業生数減少

地元根付いた学校

茨木で豊かに暮らす進路

日本語指導

校内でのコスモス生と一般生との交流促進

「茨木で豊かに暮らす+多文化の融合」

2 会長あいさつ

- ・学校教育自己診断の結果も良い

- ・福井高校の良さ、強みを世間に伝えるべき

- ・ロコミほど強いものはない

- ・福井高校存続に向けて、今日は福井高校の良さを再認識するような協議会にしたい

3 事務局より活動報告

【生徒取組み・進路実現】

資料1 授業向上プロジェクト

資料2 多文化共生プロジェクト

資料3 37期生進路状況

【分掌・委員会】

資料4 生徒指導部

資料5 活動支援部報告

資料6 広報活動報告

資料7 総合学科委員会報告

【アンケート】

資料8 総合学科アンケート

資料9 学校教育診断表

4 資料10 入学者選抜概況

5 資料11 令和4年度 学校経営評価

6 資料12 令和5年度 学校経営計画

7 委員より

（平野委員）学校教育診断について、2年生の数字が高いのは珍しい。

教員の姿勢「先生は悩みや相談に親身になって応じてくれる」が高い。指導が丁寧だと感じた。生徒との関係づくりができています。

出前授業をドリカム等授業内で行ってはどうか。皆でやるとより良い。

そこに大学生も関わらせてもらえれば嬉しい。

福井高校の良さを広げてほしい。とても良い報告だった。

(高岡委員) 今日、顔見知り程度だった生徒がにこっとしてくれた。とても嬉しい。

日頃の先生方との信頼関係がうかがえる。

そこに教育的な支援の仕掛けを先生方がされているので、子どもたちは安心して成長していくことができる。

フェスタで、生き方について発表している生徒たちを見た。また、社会を変える力も育まれている。三島中でも福井高校を参考に学び、仕掛けを考えている。

大事にしたいことを、自分たちも小学校と共有していきたい。

自転車のヘルメットも大切だが、マナーも大切。自転車についてはまだ戸惑いもあるが、今後進めていきたい。

(塩田委員) 自転車のヘルメットは推進していくべきだと思うが、浸透するか懸念もある。頭を守ることは大切。地域として何か協力することができればいいと思う。「ヘルメットをこうしている」というのは、福井高校にとってもPRになるのではないか。

(三浦委員) この間の雪のとき、学校からすぐにメール配信が来た。即座に休校の判断をしてくださって、周りの保護者からも大変評判がよかった。しかしこれは中に入ってみないと外からはわからない。外から見ると中の方が福井高校の良さがわかる。それをどう発信していけばいいかが課題だと感じる。

(勝部委員) 先生たち、ありがとうございます。ご苦労さまです。今日の報告も、福井高校の良さに溢れていた。福井高校の良さを、もっと教育庁がわかってほしい。謙虚になりすぎず、もっともっとPRしていったいい。その方が生徒たちも嬉しいだろう。

(内田校長) ドリカムについて、委員のご提案のようにもっとテーマごとに生徒の希望を聞きながら行うのもよいと思う。ドリカムをコアカリキュラムと呼んでおり、今以上に改善していきたい。いろいろな言葉で本校をお褒めいただき、ありがとうございました。

以上の議題について、全会一致で可決された。

8 当日の出席委員

番号	名前	職名
1	勝部 幸	元福井高校校長
2	平野 智之	追手門学院大学 教授
3	高岡 明美	茨木市立三島中学校長
4	塩田 寛	福井地区自治振興会
5	三浦 有記	本校PTA会長